

大阪湾沿岸（泉州）高潮広域タイムライン（案）

【2021年度版（案）】


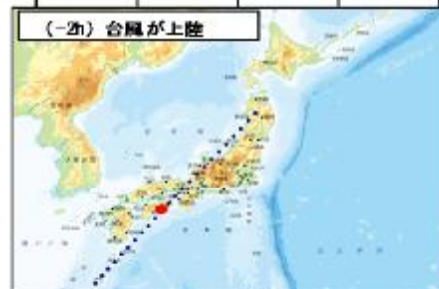
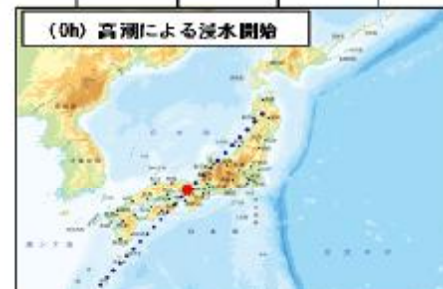

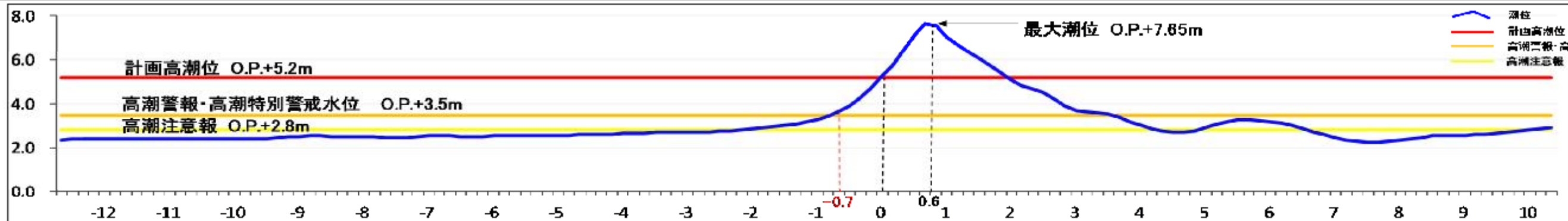
（初版：2020年8月策定）

令和3年3月

大阪湾沿岸（泉州）高潮タイムライン策定ワーキング

大阪湾沿岸（泉州）高潮広域タイムライン（案）

大阪湾沿岸(泉州)高潮広域タイムライン(案) 想定シナリオ

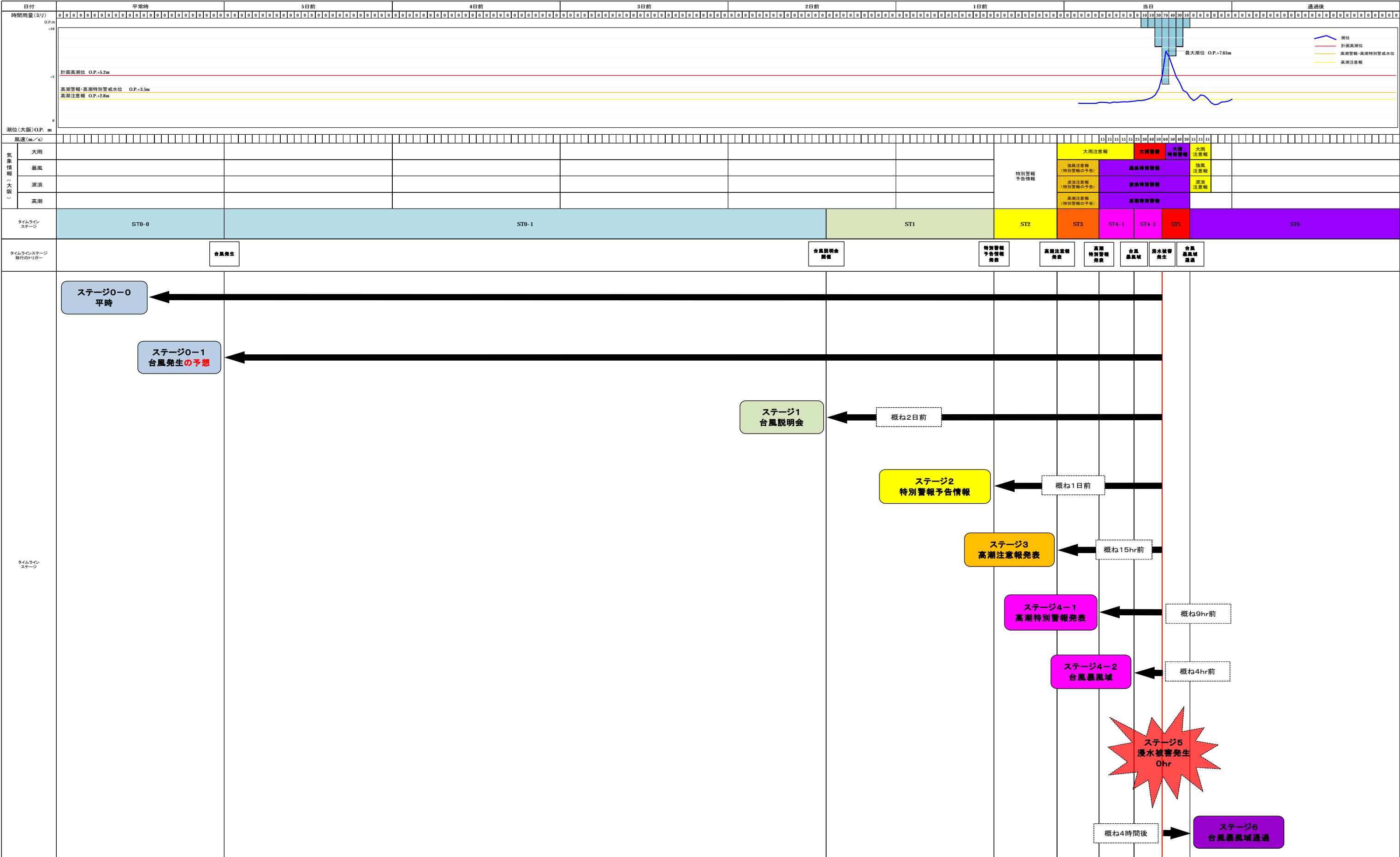
時間経過	-48h	-24h	-12h	-11h	-10h	-9h	-8h	-7h	-6h	-5h	-4h	-3h	-2h	-1h	0h	+0.6h	+1h	+2h	+3h	+4h	+5h	+6h	+7h	+8h	+9h	+10h	+12h	+24h	
台風の位置																													
中心気圧			896hPa	897hPa	899hPa	900hPa	901hPa	902hPa	904hPa	905hPa	906hPa	907hPa	909hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa	910hPa		
移動速度			73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h	73km/h		
大阪府の状況						強風域	強風域	強風域	強風域	強風域	暴風域	暴風域	暴風域	暴風域	暴風域	暴風域	暴風域	暴風域	暴風域	強風域	強風域	強風域							
潮位(T.P.m)			1.12	1.11	1.12	1.23	1.21	1.25	1.25	1.27	1.34	1.40	1.67	1.98	3.92	6.36	5.77	3.80	2.42	1.71	1.60	1.89	1.17	1.03	1.28	1.62			
潮位(O.P.m)			2.42	2.41	2.42	2.53	2.51	2.55	2.55	2.57	2.64	2.70	2.87	3.28	5.22	7.85	7.07	5.10	3.72	3.01	2.90	3.19	2.47	2.33	2.58	2.82			
大阪湾潮位 (大阪)	<div></div>																												
※風速(参考)						15m/s 以上	15m/s 以上	15m/s 以上	15m/s 以上	15m/s 以上	25m/s 以上	30m/s 以上	40m/s 以上	50m/s 以上	60m/s 以上	50m/s 以上	40m/s 以上	30m/s 以上	15m/s 以上	15m/s 以上	15m/s 以上								
※降水量 (参考)	時刻											10mm	10mm	30mm	70mm	40mm	30mm	10mm											
	累加											10mm	20mm	50mm	120mm	160mm	190mm	200mm											
気象情報	大雨		大雨注意報								大雨警報						大雨特別警報				大雨注意報			解除					
	暴風		特別警報 予告段階	強風注意報 (特別警報の予告)		暴風特別警報																強風注意報		解除					
	波浪			波浪注意報 (特別警報の予告)		波浪特別警報																波浪注意報		解除					
	高潮			高潮注意報 (特別警報の予告)		高潮特別警報																解除							
主な状況 (参考)	(-40h) 気象台 による 台風説明会。	(-24h) 気象台 より近 畿地方 に特別 警戒発 表の可 能性に 言及。	(-15h) 気象台 より特 別警戒 発表の 注意報 の発表。			(-9h) 大阪湾 域が風 速15m/s 超の強 風域に 入る。暴 風波浪 高潮特 別警戒 発表。					(-4h) 大阪湾 域が風 速25m/s 超の暴 風域に 入る。大 雨警戒 発表。			(-1h) 台風が 高知県 室戸岬 付近に 上陸。	(-0.7h) 高潮特 別警戒 水位 (O.P.+3.5)を超え る。(0h) 大阪湾 沿岸市 町の一 部地域 で高潮 による 浸水開 始。	(0h) 大雨特 別警戒 発表の 発表。(0.6h) 大阪湾 の潮位 がピー クを迎 える。					(+4h) 台風の 暴風域 から抜 ける。高 潮によ る浸水 範囲が 最大と なる。				(+7h) 台風の 強風域 から抜 ける。				

※ 風速、降水量については「大阪大規模都市水害対策ガイドライン（平成30年3月 大阪大規模都市水害対策検討会）」P143の図上訓練想定シナリオを引用した「参考値」である。

※ 気象警報については、本想定シナリオを基に発表時間、内容等を検討したものである。

大阪湾沿岸（泉州）高潮広域タイムライン（案）

大阪湾沿岸(泉州)高潮広域タイムライン(案) ステージ設定



大阪湾沿岸（泉州）高潮広域タイムライン（案）

大阪湾沿岸（泉州）高潮広域タイムライン（案） 各ステージ移行の判断

ステージ	情報・事象
ステージ0 ↓ ステージ1	大阪管区気象台において「台風説明会」が開催されたとき もしくは 「台風説明会」の資料をメール等で受け取ったとき
ステージ1 ↓ ステージ2	大阪管区気象台において「特別警報予告情報」が発表されたとき
ステージ2 ↓ ステージ3	大阪管区気象台において泉州地域に「高潮注意報」が発表されたとき
ステージ3 ↓ ステージ4ー1	大阪管区気象台において泉州地域に「高潮特別警報」が発表されたとき
ステージ4ー1 ↓ ステージ4ー2	泉州地域が台風の暴風域に入ったとき
ステージ4ー2 ↓ ステージ5	泉州地域のいずれかで防潮堤が破堤したとき もしくは 高潮潮位が防潮堤の高さを超え、越流が始まったとき
ステージ5 ↓ ステージ6	台風の暴風域が泉州地域を通過したあと

大阪湾沿岸（泉州）高潮広域タイムライン（案）の運用方法

◆高潮広域タイムライン（案）の発動、各ステージの移行判断

- ・台風が大阪府に接近し、影響を及ぼす可能性がある場合に、高潮広域タイムライン（案）を発動します。
- ・タイムラインの各ステージの移行は、トリガーとなる情報が発表された際に判断します。（P5「ステージ移行の判断」参照）
- ・各機関は、各ステージにおいて各自の防災マニュアル等に従って防災行動を実行してください。

◆情報提供の手法・ツール

- ・高潮広域タイムライン運用時の情報提供はメールなどにより実施します。
- ・情報は大阪府からの一方通行ではなく、参画している機関において、共有すべき情報があれば、随時情報発信してください。

◆その他

- ・本タイムラインの想定シナリオは「大阪湾沿岸部に想定最大台風が接近した場合」を想定していますが、もし台風が特別警報級に至らない場合でも、「特別警報＝警報」と置き換え運用してください。
- ・台風の強度、速度等によっては、ステージ移行の順番が異なる可能性があります。
例）特別警報予告情報がなく、高潮注意報が発表された場合 ⇒ ステージ1からステージ3へ移行
- ・タイムライン（案）のステージはあくまで目安です。実際の防災行動は各自の防災マニュアル等に従って行動してください。

大阪湾沿岸（泉州）高潮広域タイムライン（案）

（参考）防災情報の入手について

1.気象庁ホームページ

気象庁トップページ

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

台風情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.5/137/&elem=root&typhoon=all&contents=typhoon>

気象情報・注意報・警報の発表状況（⇒市町村を選択）

https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=offices&area_code=270000&lang=ja

雨雲の動き・今後の雨・危険度分布（⇒市町村を選択）

https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=offices&area_code=270000&pattern=rain_level

潮位情報（大阪）

https://www.jma.go.jp/bosai/tidelevel/#area_type=class20s&area_code=2710000&point_code=156206&class30s=27000100&filter=0

潮位情報（淡輪）

https://www.jma.go.jp/bosai/tidelevel/#area_type=class20s&area_code=2736600&point_code=156201&class30s=27000500&filter=0

3.潮位観測情報（大阪府HP抜粋）

堺港（堺泉北港）

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/tyouigraph/03011010001.html?TYPE=60>

泉北港（堺泉北港）

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/tyouigraph/03011010006.html?TYPE=60>

岸和田水門（阪南港）

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/tyouigraph/03011010027.html?TYPE=60>

岸和田水門南水門（阪南港）

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/tyouigraph/03011010033.html?TYPE=60>

深日港（岬町）

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/tyouigraph/03011010021.html?TYPE=60>

2.大阪府ホームページ

河川防災情報トップページ

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html>

洪水予報情報

http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/kouzuiyosoku/index_kouzui.htm

雨量情報（⇒観測局を選択）

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html>

水位情報（⇒観測局を選択）

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html>

河川カメラ（⇒観測地点を選択）

<http://www.osaka-pref-rivercam.info/>

4.おおさか防災ネット

<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>



A：避難情報

B：交通機関情報

（鉄道・バス等運行情報）

道路情報

（道路規制・冠水情報）

ライフライン情報

ステージ			ステージ0-0	ステージ0-1	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4-1	ステージ4-2	ステージ5	ステージ6
リードタイム			－		－48h	－24h	－15h	－9h	－4h	0h	+4h～
トリガー			平常時	台風発生予想	台風説明会	特別警報予告情報	高潮注意報発表	高潮特別警報発表	台風暴風域	浸水被害発生	台風暴風域通過
100 トリガー 情報提供	110 気象台	111 台風情報		1. 台風発生情報の発表 2. 台風進路予報の発表 3. 台風説明会開催準備	4. 台風説明会開催 5. 台風情報の配信 6. 潮位予測値の情報提供	※台風情報の配信 ※潮位予測値の情報提供	※台風情報の配信	※台風情報の配信	※台風情報の配信	※台風情報の配信	※台風情報の配信
		112 気象情報			1. 大阪府気象情報の配信	※大阪府気象情報の配信 2. 特別警報予告情報発表	※大阪府気象情報の配信 3. 高潮注意報発表	※大阪府気象情報の配信 4. 高潮特別警報発表	※大阪府気象情報の配信	※大阪府気象情報の配信	※大阪府気象情報の配信
		113 避難行動支援				1. 気象台ホットラインの発信	※気象台ホットラインの発信	2. 大阪府災害対策本部ヘリエゾン派遣			
	120 大阪府水防本部	121 潮位					1. 潮位の監視	※潮位の監視	※潮位の監視 2. 高潮氾濫危険情報の発表	※潮位の監視 3. 高潮氾濫発生情報の発表	※潮位の監視
		122 施設操作状況					1. 防潮扉水門等の閉鎖協議 2. 防潮扉閉鎖に関する広報				3. 防潮扉水門等の開放協議 4. 防潮扉開放に関する広報
		123 水防活動の支援	1. 防災啓発の実施 2. 水防体制の整備	3. 情報収集	4. 水防体制の検討 5. 連絡体制の確認		6. 水防体制の確立 7. 水位等の監視	8. 水防体制の拡大 ※水位等の監視	※水位等の監視	※水位等の監視	※水位等の監視
	130 大阪府災害対策本部	131 防災対応の支援	1. 防災啓発の実施	2. 台風関係情報の発信（庁内、市町村、関係機関） 3. 府民への注意喚起 4. 「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」発動（防災・危機管理指令部）	※台風関係情報の発信（庁内、市町村、関係機関） 5. 災害警戒本部設置 6. 第1回災害警戒本部会議開催 7. 知事メッセージの発信	※台風関係情報の発信（庁内、市町村、関係機関） 8. 第2回災害警戒本部会議開催 9. 災害モード宣言の発信	※台風関係情報の発信（庁内、市町村、関係機関） 10. 災害対策本部設置 11. リエゾン派遣受入れ要請 12. リエゾン派遣準備	※台風関係情報の発信（庁内、市町村、関係機関） ※リエゾン派遣受入れ要請 ※リエゾン派遣準備 13. 災害救助法適用に向けた準備	※台風関係情報の発信（庁内、市町村、関係機関） ※リエゾン派遣受入れ要請 ※リエゾン派遣準備 ※災害救助法適用に向けた準備	14. 被害情報収集 15. 防災関係機関への応援要請・活動調整 16. リエゾン派遣 17. 災害救助法適用に係る調整 18. 災害対策本部会議開催	※被害情報収集 ※防災関係機関への応援要請・活動調整 ※リエゾン派遣 ※災害救助法適用に係る調整 ※災害対策本部会議開催
	210 情報・指揮	211 防災体制の構築		1. 情報収集	2. 防災体制の検討	3. 防災体制の確立		4. 防災体制の拡大		5. 被害情報の収集	
		212 判断・意思決定			1. 代替庁舎等の検討 2. 自主避難呼びかけの検討 3. 避難準備・高齢者等避難開始発令の検討	4. 自主避難呼びかけの判断 5. 避難準備・高齢者等避難開始発令の判断		6. 避難勧告、避難指示発令の判断		7. 支援要請	※支援要請
		213 避難情報の提供	1. 避難情報周知の準備 2. 隣接市町との事前連携	3. 要支援者に向けた情報提供		4. 自主避難の呼びかけ	5. 避難準備・高齢者等避難開始発令の周知	6. 避難勧告、避難指示発令の周知		7. 災害発生情報の発令	
200 沿岸市町	220 避難支援	221 避難所の運営	1. 避難施設の確保 2. 避難所情報の周知		3. 避難所開設場所の検討 4. 避難所従事者の確保・検討 5. 避難所開設の準備	6. 避難所の開設・運営	※避難所の開設・運営	※避難所の開設・運営	※避難所の開設・運営	※避難所の開設・運営	※避難所の開設・運営 7. 避難所の閉鎖検討
	230 要配慮者支援	231 要配慮者の支援	1. 要支援者避難所施設の確保		2. 要配慮者支援の準備		3. 要配慮者避難支援の実施	※要配慮者避難支援の実施			
		232 小中学校			1. 学校等の営業に関する情報収集	2. 学校休校の検討	3. 学校休校の判断	4. 学校休校の指示			5. 学校再開の判断、指示
	240 現場対応	241 水防活動の実施	1. 防災啓発の実施 2. 防災訓練の実施 3. 自主防災組織の訓練指導 4. 資機材の準備確認	5. 情報収集 6. 資機材の点検・確認 7. 工事現場等の安全管理	8. 水防体制の検討 9. 連絡体制の確認	10. 水防体制の確立 11. 関係機関への連絡	12. 水位等の監視	13. 水防体制の拡大 ※水位等の監視	※水位等の監視 14. 職員の安全確保	※水位等の監視 15. 被害情報の収集	※水位等の監視 16. 応急対策の実施 17. 住民問合せ対応
		242 洪水対策操作支援	1. 施設の保守点検	2. 施設の点検確認	3. 操作者の確認		4. 防潮堤・水門の閉鎖	※防潮堤・水門の閉鎖	5. 職員の安全確保		6. 防潮堤・水門の開放
		243 バトロール施設管理	1. 日常点検	2. バトロールの準備	3. バトロールの実施	※バトロールの実施	※バトロールの実施	※バトロールの実施 4. 管理道路の交通規制	5. 職員の安全確保		6. バトロールの実施 7. 管理道路の交通規制解除 8. 関係機関への連絡

ステージ			ステージ0-0	ステージ0-1	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4-1	ステージ4-2	ステージ5	ステージ6
リードタイム			－		－48h	－24h	－15h	－9h	－4h	0h	＋4h～
トリガー			平常時	台風発生予想	台風説明会	特別警報予告情報	高潮注意報発表	高潮特別警報発表	台風暴風域	浸水被害発生	台風暴風域通過
300 大阪府 土木 事務所	310 現場対応	311 水防活動 の実施	1.防災啓発の実施 2.防災訓練の実施 3.自主防災組織の訓練指導 4.資機材の準備確認	5.情報収集 6.資機材の点検・確認 7.工事現場等の安全管理	8.水防体制の検討 9.連絡体制の確認	10.水防体制の確立 11.関係機関への連絡	12.水位等の監視	13.水防体制の拡大 ※水位等の監視	※水位等の監視 14.職員の安全確保	※水位等の監視 15.被害情報の収集	※水位等の監視 16.応急対策の実施 17.住民問合せ対応
		312 洪水対策 操作支援	1.施設の保守点検	2.施設の点検確認			3.防潮堤・水門の閉鎖	※防潮堤・水門の閉鎖	4.職員の安全確保		5.防潮堤・水門の開放
		313 パトロール 施設管理	1.日常点検	2.パトロールの準備	3.パトロールの実施	※パトロールの実施	※パトロールの実施	※パトロールの実施 4.管理道路の交通規制	5.職員の安全確保		6.パトロールの実施 7.管理道路の交通規制解除 8.関係機関への連絡
400 鉄道	410 ＪＲ西日本	411 利用者の 安全確保	1.資機材・施設の点検確認	2.情報収集 3.運転計画の検討	※運転計画の検討 4.協力会社への連絡	5.運転計画の報道発表		6.計画運転開始 7.警備開始	8.運転取りやめ 9.停車電車の警備 10.災害対応準備		11.被害状況確認・応急対策 12.点検、運転再開の検討
	420 南海	421 利用者の 安全確保	1.資機材・施設の点検確認	2.情報収集 3.運転計画の検討 4.連絡体制の確認	※運転計画の検討 5.協力会社への連絡	6.運転計画の報道発表		7.他社路線の運行状況確認 8.点検方法等の検討 9.計画運転開始	10.運転取りやめ 11.停車電車の警備 12.災害対応準備		13.被害状況確認・応急対策 14.点検、運転再開の検討
	430 阪堺電車	431 利用者の 安全確保	1.資機材・施設の点検確認	2.情報収集	3.運転計画の検討	4.運転計画の報道発表		5.計画運転開始	6.運転取りやめ 7.停車電車の警備 8.災害対応準備		9.被害状況確認・応急対策 10.点検、運転再開の検討
	440 泉北高速	441 利用者の 安全確保	1.資機材・施設の点検確認	2.情報収集	3.運転計画の検討	4.運転計画の報道発表		5.計画運転開始	6.運転取りやめ 7.停車電車の警備 8.災害対応準備		9.被害状況確認・応急対策 10.点検、運転再開の検討
	450 水間鉄道	451 利用者の 安全確保	1.資機材・施設の点検確認	2.情報収集	3.運転計画の検討	4.運転計画の報道発表		5.計画運転開始	6.運転取りやめ 7.停車電車の警備 8.災害対応準備		9.被害状況確認・応急対策 10.点検、運転再開の検討
500 航空	510 関西国際 空港	511 利用者の 安全確保	1.備蓄品の確認 2.資機材、施設の点検確認	3.情報収集		4.台風対策会議の開催		※台風対策会議の開催 5.滑走路の閉鎖	※台風対策会議の開催 6.空港の閉鎖 7.島外避難アクセス確保		8.島外避難の実施 9.被害状況確認・応急対策 10.空港再開の検討
600 ライフ ライン	610 電力	611 機能の 維持	1.電力設備の巡視	2.飛散物の防止 3.連絡体制の確認 4.復旧用資機材の確保	5.警戒本部設置 6.情報収集体制の確立	7.非常災害対策本部設置 8.復旧体制の確立			9.設備被害・停電情報の把握	10.被害情報・道路情報の把握、共有 11.復旧応援体制の見直し	12.被災箇所の復旧作業 （設備巡視）
	620 ガス	621 機能の 維持	1.日常現場・施設点検	2.情報収集	3.施設・資機材の点検	4.社内体制の検討 5.関係施設の遠隔監視の開始		6.施設監視体制の確立 7.作業、勤務従事者の中止検討		8.被害情報の把握、共有	9.被害状況確認 10.応急対応の実施
	630 水道	631 機能の 維持	1.日常現場・施設点検	2.情報収集 3.工事現場の安全確認	4.管理施設の確認、点検 5.配備体制の指示	6.受水企業へ注意喚起	7.緊急時使用資機材等の点検確認 8.備蓄資材の確認	9.配備体制の確立 10.停電時用の水量確保		11.被害情報の把握、共有	12.被災箇所の復旧作業 13.応援給水
	640 通信	641 機能の 維持	1.通信設備、資機材点検 2.防災訓練への参加、実施 3.通信アラームの監視	4.情報収集	5.情報連絡室の設置	6.災害対策本部設置 7.ホームページでの情報提供	8.交通機関、道路状況等の情報収集	9.電源車、衛星車等出動準備 10.停電情報の収集 11.避難所開設情報の把握 12.特設公衆Wi-Fiの設置検討	13.回線輻輳状況の把握 14.Ｔ．Ｃ．の検討、実施 15.災害用伝言ダイヤル「171」の運用開始	16.被害情報の把握、共有 17.設備アラームの把握	18.リエゾン派遣 19.パトロールの実施 20.被災箇所の復旧作業
700 警察		711 住民の 安全確保	1.防災関係機関との情報共有 2.装備資機材の点検・確認 3.管内危険箇所の把握 4.防災啓発の実施 5.防災訓練の実施	※防災関係機関との情報共有 6.情報収集 7.管内危険箇所の確認と対応	※防災関係機関との情報共有 ※情報収集 8.警備体制の検討	※防災関係機関との情報共有 ※情報収集 9.公共交通機関の計画運休等の情報収集	※防災関係機関との情報共有 10.警備本部設置	※防災関係機関との情報共有 11.事案対応	※防災関係機関との情報共有 ※事案対応	※防災関係機関との情報共有 ※事案対応 12.被害情報の収集	※防災関係機関との情報共有 ※事案対応 ※被害情報の収集
800 消防		811 住民の 安全確保	1.日常現場・施設点検	2.情報収集	3.防災関係機関との情報共有	4.招集体制の検討	5.資機材の準備確認	6.災害対策本部設置 7.人員体制の配備完了	8.事案対応 9.避難情報の収集、対応	※事案対応 10.被害情報の把握、共有 11.広域応援要請検討	※事案対応 ※被害情報の把握、共有 12.被災等の対応
900 自衛隊		911 住民の 安全確保	1.資機材点検	2.台風情報の収集	※台風情報の収集 3.関係機関との情報共有	※台風情報の収集 ※関係機関との情報共有 4.情報所開設	※台風情報の収集 ※関係機関との情報共有	※台風情報の収集 ※関係機関との情報共有	※台風情報の収集 ※関係機関との情報共有	※台風情報の収集 ※関係機関との情報共有 5.指揮所開設 6.被害情報の収集 7.（災害派遣要請がある場合） 要請内容の確認・受理 8.（災害派遣要請がある場合） 災害派遣部隊編成・準備	※関係機関との情報共有 ※被害情報の収集 9.（災害派遣要請がある場合） 災害対応

タイムライン ステージ (時間の 目安)	状況 情報	行動大項目	行動小項目	役割分担																						
				大阪 管 区 気 象 台	大阪府			流域市町			鉄道					関 西 エ ア ポ ー ト	ライフライン				警 察	消 防	自 衛 隊			
					水 防 本 部	災 害 対 策 本 部	土 木 事 務 所 等	情 報 ・ 指 揮	避 難 支 援	要 配 慮 者 支 援	現 場 対 応	J R 西 日 本	南 海 電 鉄	阪 堺 電 車	泉 北 高 速 鉄 道		水 間 鉄 道	関 西 電 力 送 配 電	大 阪 ガ ス	大 阪 広 域 水 道 企 業 団				N T T 西 日 本		
ステージ0-0	平常	水防活動の支援	防災啓発の実施		◎																					
			水防体制の整備		◎																					
		防災対応の支援	防災啓発の実施			◎																				
		避難情報の提供	避難情報周知の準備				◎																			
			隣接市町との事前連携				◎																			
		避難所の運営	避難施設の確保					◎																		
			避難所情報の周知					◎																		
		要配慮者の支援	要支援者避難所施設の確保						◎																	
		(市)水防活動の実施	防災啓発の実施								◎															
			防災訓練の実施									◎														
			自主防災組織の訓練指導										◎													
			資機材の準備確認											◎												
		(市)洪水対策操作支援	施設の保守点検									◎														
		(市)パトロール施設管理	日常点検									◎														
		(府)水防活動の実施	防災啓発の実施				◎																			
			防災訓練の実施				◎																			
			自主防災組織の訓練指導				◎																			
			資機材の準備確認				◎																			
		(府)洪水対策操作支援	施設の保守点検				◎																			
		(府)パトロール施設管理	日常点検				◎																			
		鉄道利用者の安全確保(全社)	資機材・施設の点検確認										◎	◎	◎	◎	◎									
		空港利用者の安全確保	備蓄品の確認															◎								
			資機材・施設の点検確認															◎								
		ライフライン機能の維持（電力）	電力設備の巡視																◎							
		ライフライン機能の維持（ガス）	日常現場・施設点検																	◎						
		ライフライン機能の維持（水道）	日常現場・施設点検																		◎					
		ライフライン機能の維持（通信）	通信設備、資機材点検																			◎				
			防災訓練の参加、実施																				◎			
			通信アラームの監視																				◎			
		住民の安全確保（警察）	防災関係機関との情報共有																				◎			
装備資機材の点検、確認																					◎					
管内危険箇所の把握																						◎				
防災啓発の実施																						◎				
防災訓練の実施																							◎			
住民の安全確保（消防）	日常現場・施設点検																					◎				
住民の安全確保（自衛隊）	資機材点検																						◎			

タイムライン ステージ (時間の 目安)	状況 情報	行動大項目	行動小項目	役割分担																										
				大 阪 管 区 気 象 台	大阪府			流域市町			鉄道					関 西 エ ア ポ ー ト	ライフライン				警 察	消 防	自 衛 隊							
					水 防 本 部	災 害 対 策 本 部	土 木 事 務 所 等	情 報 ・ 指 揮	避 難 支 援	要 配 慮 者 支 援	現 場 対 応	J R 西 日 本	南 海 電 鉄	阪 堺 電 車	泉 北 高 速 鉄 道		水 間 鉄 道	関 西 電 力 送 配 電	大 阪 ガ ス	大 阪 広 域 水 道 企 業 団				N T T 西 日 本						
ステージ0-1	台風発生 の予想	台風情報	台風発生情報の発表	◎																										
			台風進路予報の発表	◎																										
			台風説明会開催準備	◎																										
		水防活動の支援	情報収集		◎																									
			台風関係情報の配信（庁内、市町村、関係機関）			◎																								
			府民への注意喚起			◎																								
		防災対応の支援	「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」発動			◎																								
			防災体制の構築	情報収集					◎																					
			避難情報の提供	要支援者に向けた情報提供					◎																					
		(市)水防活動の実施	情報収集									◎																		
			資機材の点検・確認									◎																		
			工事現場等の安全管理									◎																		
		(市)洪水対策操作支援	施設の点検確認									◎																		
		(市)パトロール施設管理	パトロールの準備									◎																		
		(府)水防活動の実施	情報収集				◎																							
			資機材の点検・確認				◎																							
			工事現場等の安全管理				◎																							
		(府)洪水対策操作支援	施設の点検確認				◎																							
		(府)パトロール施設管理	パトロールの準備				◎																							
		鉄道利用者の安全確保(全社)	情報収集										◎	◎	◎	◎	◎													
			運転計画の検討										◎	◎																
			連絡体制の確認											◎																
		空港利用者の安全確保	情報収集														◎													
		ライフライン機能の維持（電力）	飛散物の防止																◎											
			連絡体制の確認																◎											
			復旧用資機材の確保																◎											
		ライフライン機能の維持（ガス）	情報収集																◎											
		ライフライン機能の維持（水道）	情報収集																		◎									
			工事現場の安全確認																		◎									
		ライフライン機能の維持（通信）	情報収集																				◎							
		住民の安全確保（警察）	防災関係機関との情報共有（継続）																					◎						
			情報収集																				◎							
			管内危険箇所の確認と対応																				◎							
		住民の安全確保（消防）	情報収集																						◎					
		住民の安全確保（自衛隊）	情報収集																									◎		

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

タイムライン ステージ (時間の 目安)	状況 情報	行動大項目	行動小項目	役割分担																						
				大 阪 管 区 気 象 台	大阪府			流域市町				鉄道					関 西 エ ア ポ ー ト	ライフライン				警 察	消 防	自 衛 隊		
					水 防 本 部	災 害 対 策 本 部	土 木 事 務 所 等	情 報 ・ 指 揮	避 難 支 援	要 配 慮 者 支 援	現 場 対 応	J R 西 日 本	南 海 電 鉄	阪 堺 電 車	泉 北 高 速 鉄 道	水 間 鉄 道		関 西 電 力 送 配 電	大 阪 ガ ス	大 阪 広 域 水 道 企 業 団	N T T 西 日 本					
ステージ5 (0h～)	浸水被害 発生	台風情報	台風情報の配信（継続）	◎																						
		気象情報	大阪府気象情報の配信（継続）	○																						
		潮位	潮位の監視（継続） 高潮氾濫発生情報の発表		◎																					
		水防活動の支援	水位等の監視（継続）		◎																					
		防災対応の支援	被害情報収集			○																				
			防災関係機関への応援要請・活動調整			○																				
			リエゾン派遣			○																				
			災害救助法適用に係る調整			○																				
			災害対策本部会議開催			○																				
		防災体制の構築	被害情報の収集					◎																		
		判断・意思決定	支援要請					◎																		
		避難情報の提供	災害発生情報の発令					◎																		
		避難所の運営	避難所の開設・運営（継続）						◎																	
		(市)水防活動の実施	水位等の監視（継続）								◎															
			被害情報の収集								◎															
		(府)水防活動の実施	水位等の監視（継続）			◎																				
			被害情報の収集			◎																				
		ライフライン機能の維持（電力）	被害情報・道路情報の把握、共有																◎							
			復旧応援体制の見直し																◎							
		ライフライン機能の維持（ガス）	被害情報の把握、共有																	◎						
		ライフライン機能の維持（水道）	被害情報の把握、共有																		◎					
		ライフライン機能の維持（通信）	被害情報の把握、共有																			◎				
			設備アラームの把握																			◎				
		住民の安全確保（警察）	防災関係機関との情報共有（継続）																				○			
			事案対応（継続）																				◎			
			被害情報の収集																				◎			
		住民の安全確保（消防）	事案対応（継続）																						◎	
			被害情報の把握、共有																					◎		
			広域応援要請検討																					◎		
		住民の安全確保（自衛隊）	情報収集（継続）																							◎
関係機関との情報共有（継続）																								◎		
指揮所開設																								◎		
被害情報の収集																								◎		
（災害派遣要請がある場合）要請内容の確認・受理																								◎		
	（災害派遣要請がある場合）災害派遣部隊編成・準備																							◎		

[illegible]

令和 3 年 3 月

大阪湾沿岸（泉州）高潮タイムライン策定ワーキング事務局

「大阪湾沿岸（泉州）高潮広域タイムライン（案） 令和 2 年 8 月」の防災行動の修正について

【高潮広域タイムライン（案）の概要】

ページ	項目	修正事項	対応
P2	想定シナリオ	大阪湾潮位のグラフの高潮注意報の凡例とグラフの色が違う	高潮注意報のグラフの色を黄色に統一
P3	ステージ設定	ステージ 0-1「台風発生の予想」に修正	ステージ 0-1「台風発生」を「台風発生の予想」に修正
P7	防災情報の入手	気象庁ホームページのリニューアルに伴い URL が変更	気象庁ホームページの URL を変更 (台風情報、気象情報（注意報・警報）、大雨危険度、潮位情報)

【高潮広域タイムライン（案）総括表】 ※総括表の修正とあわせて、詳細表もあわせて修正

ステージ (トリガー)	項目	修正内容	対応
ステージ 0-0 (平常時)	711 住民の安全確保	ステージ 1「防災関係機関との情報共有」をステージ 0-0 からステージ 6 まで全て追加	ステージ 0-0 に「防災関係機関との情報共有」を追加 ※ステージ 0-1 以降は「継続」とする
	711 住民の安全確保	「管内危険箇所の把握」「防災啓発の実施」「自主防災訓練への参加」「関係機関との合同訓練」を追加	ステージ 0-0 に「管内危険箇所の把握」「防災啓発の実施」「防災訓練の実施」を追加
ステージ 0-1 (台風発生)	トリガー	台風が発生していなくても 24 時間以内に台風に昇格する予想の場合、「台風進路予報」が発表されるため、トリガーを「台風発生の予想」に修正	ステージ 0-1 のトリガーを「台風発生の予想」に修正
	131 防災対応の支援	大阪府応急対策実施要領を改訂 (R2. 12 月) 「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の策定に伴う見直し修正	ステージ 0-1 の内容を、「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の台風最接近 3 日前までの防災行動に修正
	711 住民の安全確保	「管内危険箇所の確認と対応」を追加	ステージ 0-1 に「管内危険箇所の確認と対応」を追加

ステージ (トリガー)	項目	修正内容	対応
ステージ 1 (台風説明会)	111 台風情報	ステージ 3 の「台風情報の配信」をステージ 1、2 に追加	ステージ 1 に「台風情報の配信」を追加 ※ステージ 2～6 は「継続」とする
	111 台風情報	ステージ 3 の「潮位予測値の情報提供」をステージ 1、2 へ変更	ステージ 3 の「潮位予測値の情報提供」をステージ 1 に変更 ※ステージ 2 は「継続」とする
	112 気象情報	ステージ 1 から「大阪府気象情報」を追加	ステージ 1 に「大阪府気象情報の配信」を追加 ※ステージ 2～6 は「継続」とする
	131 防災対応の支援	大阪府応急対策実施要領を改訂 (R2. 12 月) 「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の策定に伴う見直し修正	ステージ 1 の内容を、「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の台風最接近 2 日前の防災行動に修正
	711 住民の安全確保	ステージ 0-1 の「情報収集」をステージ 2 まで継続	ステージ 1、2 に「情報収集」を追加 ※ステージ 1～2 は「継続」とする
ステージ 2 (特別警報予告情報)	131 防災対応の支援	大阪府応急対策実施要領を改訂 (R2. 12 月) 「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の策定に伴う見直し修正	ステージ 2 の内容を、「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の台風最接近 1 日前の防災行動に修正
	711 住民の安全確保	「公共交通機関の計画運休等の情報収集」を追加	ステージ 2 に「公共交通機関の計画運休等の情報収集」を追加
ステージ 3 (高潮注意報発表)	111 台風情報	高潮注意報が発表された場合は、その中で予測潮位を記述するため、ステージ 3 の「潮位予測値の情報提供」は削除	ステージ 3 の「潮位予測値の情報提供」を削除
	131 防災対応の支援	大阪府応急対策実施要領を改訂 (R2. 12 月) 「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の策定に伴う見直し修正	ステージ 3 の内容を、「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の台風最接近 1 日前の防災行動に修正
	631 機能の維持	「緊急時使用資機材等の点検確認」「備蓄資材の確認」を追加	ステージ 3 に「緊急時使用資機材等の点検確認」「備蓄資材の確認」を追加

ステージ (トリガー)	項目	修正内容	対応
ステージ 4 - 1 (高潮特別警報発表)	111 台風情報	高潮警報、高潮特別警報が発表された場合は、その中で予測潮位を記述するため、ステージ 4-1 の「潮位予測値の情報提供」は削除	ステージ 4-1 の「潮位予測値の情報提供」を削除
	131 防災対応の支援	大阪府応急対策実施要領を改訂 (R2. 12 月) 「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の策定に伴う見直し修正	ステージ 4 の内容を、「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の台風最接近 1 日前の防災行動に修正
	431 利用者の安全確保	沿線住民からの問合せ対応について削除	ステージ 4-1 の「沿線住民からの問合せ対応」を削除
ステージ 4-2 (台風暴風域)	131 防災対応の支援	大阪府応急対策実施要領を改訂 (R2. 12 月) 「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の策定に伴う見直し修正	ステージ 4 の内容を、「大型台風接近時の事前準備等タイムライン」の台風最接近 1 日前の防災行動に修正 (4-1 と統合)
	431 利用者の安全確保	「停車列車の警備」を「停車電車の警備」に変更	ステージ 4-2 の「停車列車の警備」を「停車電車の警備」に変更 ※他の鉄道事業者 (400 番台) も同様に変更
ステージ 5 (浸水被害発生)	131 防災対応の支援	大阪府応急対策実施要領を改訂 (R2. 12 月) に伴う見直し修正	ステージ 5~6 の内容を見直し修正
	711 住民の安全確保	ステージ 5、6 の「被害情報の把握・共有」を「被害情報の収集」に変更	ステージ 5 の「被害情報の把握・共有」を「被害情報の収集」に変更 ※ステージ 6 は「継続」とする

令和 3 年 4 月 16 日
大阪湾沿岸（泉州）高潮タイムライン策定ワーキング

市町村タイムラインの作成に関するアンケート 調査結果について（報告）

■調査概要

- 目 的：「今後概ね 5 年間で実施する具合的な取組み」の「高潮対応タイムライン【市域・町域】の作成」を推進するにあたり、各市町の取組み状況及び取組みに対する課題を抽出し、今後の参考とする。

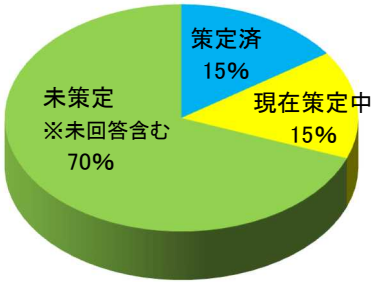
○調査期間：令和 3 年 2 月 12 日（金）から令和 3 年 3 月 1 日（月）

○調査方法：泉北・泉南地域の 13 市町の危機管理部局にアンケート調査票を送付

■アンケート調査結果

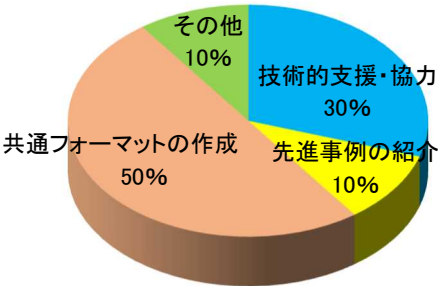
○市町村タイムラインの策定状況（高潮想定を含む）

- | | |
|---------------|-----|
| ① 策定済 | 15% |
| ② 現在策定中 | 15% |
| ③ 策定済（高潮想定なし） | 0% |
| ④ 未策定※未回答含む | 70% |



○策定を推進めるための方策

- | | |
|------------------|-----|
| ① 策定に関する技術的支援・協力 | 30% |
| ② 他市町の先進事例の紹介 | 10% |
| ③ 共通フォーマットの作成 | 50% |
| ④ その他 | 10% |



意見：災害対応は、各市町とも行動のタイミングに差がないので、共通フォーマットがあれば、マニュアルを活用し作業が進むことが出来る。

鳳土第5528号
岸土第5235号
令和3年3月17日

大津川流域広域タイムライン策定WG 構成員 様

泉北地域水防災連絡協議会
(事務局：大阪府鳳土木事務所)
泉南地域水防災連絡協議会
(事務局:大阪府岸和田土木事務所)

大津川流域広域タイムラインについて（通知）

日頃は、本府防災行政の推進に格段のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

大津川流域広域タイムラインについて、昨年12月に第1回大津川流域広域タイムライン策定WG（以下、「WG」と表記）、今年2月に第2回WGを開催し、資料等の確認ならびにご意見を頂いたところです。

これら頂いたご意見を踏まえ、大津川流域広域タイムラインを下記のとおり最終版としてまとめましたので通知させていただきます。

当初は3回のWGを開催する予定でしたが、皆様のこれまでのご協力により第2回までのWGのご意見等をもって完成させることができましたので、第3回WGに替えて資料1及び資料2を最終版としております。

記

資料1：大津川流域広域タイムライン（案）（最終版）

資料2：大津川流域広域タイムライン総括表（案）（最終版）

（参考資料1）：第2回WGの意見と対応

（参考資料2）：第2回WG議事録

<連絡先>

泉北地域水防災連絡協議会 事務局

大阪府鳳土木事務所 地域支援・企画課 三木野、原田

〒593-8324

（住所）大阪府堺市西区鳳東町4丁390-1

（電話）072-273-0123 内線（321）

（FAX）072-271-9446

（メールアドレス）HaradaYuz@mbox.pref.osaka.lg.jp

＊補足事項＊

1. タイムライン発動のトリガー（資料１の P.7 参照）について

- ・発令元：大阪府鳳土木事務所
- ・発令方法：一斉メール（警察署は FAX）による
- ・発令のタイミング：大阪管区气象台が台風説明会を開催したとき

2. 今後のスケジュール

- ・令和３年４月１日より試行版として運用開始
- ・今年の出水期までに図上訓練により検証を行い、本運用とする予定

大津川流域広域タイムライン策定 WG 構成員

（自治体関係）

大阪府鳳土木事務所
大阪府岸和田土木事務所
大阪府都市整備部事業管理室 防災維持 G
大阪府都市整備部河川室 計画 G

和泉市市長公室
和泉市都市デザイン部
泉大津市総合政策部
泉大津市都市政策部
高石市危機管理課
高石市土木部
忠岡町町長公室
忠岡町産業まちづくり部
岸和田市 危機管理部
岸和田市 建設部

（国関係）

大阪管区气象台 気象防災部予報課

（警察機関）

大阪府和泉警察署
大阪府泉大津警察署
大阪府高石警察署
大阪府岸和田警察署

（消防機関）

堺市消防局
和泉市消防本部
泉大津市消防本部
忠岡町消防本部
岸和田市消防本部

（占用事業者）

大阪広域水道企業団南部水道事業所
関西電力送配電株式会社 大阪支社
大阪ガス株式会社 ネットワークカンパニー 南部導管部
西日本電信電話株式会社大阪支店

（運輸事業者）

西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部
南海電気鉄道株式会社 工務課
泉北高速鉄道株式会社 技術部

（陸上自衛隊）

陸上自衛隊信太山駐屯地、第３７普通科連隊

大津川流域 広域タイムライン（案）

令和 3 年 3 月

泉北地域水防災連絡協議会
泉南地域水防災連絡協議会
大津川流域広域タイムライン策定WG

大津川流域広域タイムライン ～目次～

1. 策定の目的	P01
2. 概要と作成機関	P02
3. 想定シナリオ	P03
4. 完成までのスケジュールについて	P05
5. 構成	P06
6. タイムライン発動のトリガーについて	P07
7. 関係者連絡先一覧	P08

1. タイムライン策定の目的

近年、全国的に想定を超えるような豪雨や台風により、多くの人命が失われるなどの災害が発生しており、大阪府においても、平成29年10月の台風第21号では豪雨となり、数多くの土砂崩れが発生した。

さらに平成30年9月の台風第21号では暴風により、倒木や電柱等の倒壊が多数発生し、長期間にわたり停電が発生し通信手段にも大きな影響を与え、また、家屋被害も甚大であった。台風通過後も災害ゴミの処理が問題となった。

こうした大規模災害に対し、地域防災計画やマニュアル等により災害対応にあたったが、個々の業務に追われるなど、部局間や防災機関との情報共有や連携不足などの課題を認識することとなった。

台風等の風水害は、いつ起こるか分からない地震とは異なり、台風等が発生してから被害が生じるまでには時間的余裕があり、先を見越した対応により被害を最小限にとどめることが可能である。

これらのことから、各部局や防災関係機関が地域防災計画や実際の防災行動に基づき、事態の推移に係る時間軸に応じて、的確かつ円滑な対応をとるための組織間の連携や対応内容を明確にし、発災前の事前段階における早めの対応による被害の最小化を目的として「大津川流域広域タイムライン（防災行動計画）」を策定するものである。

2. タイムラインの概要と作成機関

○ タイムラインとは

台風などが要因となる大規模災害が発生することを前提に、防災関係機関が連携して災害時の状況を予め想定して共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画です。

地域防災計画では「誰が」「何を」をするかは、定められていますが

- ・其々が「いつ」行うのかは定義されていない
- ・其々の行動に対する連携が定義されていない



災害対応時に混乱の原因

タイムライン作成により

・「いつ」を決めることで

各々が迷う時間を少なくし、「時間軸」を考慮することで、**行動の無理・無駄が把握**できます。

・「誰が」「何を」を共有することで

防災関係者が**連携した防災活動、避難行動**に繋がります。

○ タイムライン作成・導入の効果

タイムライン作成・導入することにより、以下のような効果が期待

- ① 災害時、実務担当者は「**先を見越した早め早めの行動**」ができます。
また、意思決定者は「**不測の事態の対応に専念**」できます。
- ② 「**防災関係機関の責任の明確化**」「**防災行動の抜け漏れ落ちの防止**」が図れます。（行動のチェックリストとして機能します）
- ③ 防災関係機関のあいだで「**顔の見える関係**」を構築できます。
- ④ 「**災害のふりかえり（検証）、改善**」を容易に行うことができます。

○ タイムライン作成機関

泉北地域水防災連絡協議会及び泉南地域水防災連絡協議会のもとに「大津川流域広域タイムラインWG」を同協議会構成員承認により設置いたしました。**災害発生前までに各防災関係機関が何をすべきかを明確にすることを目的としたタイムラインを作成することから**、大阪管区气象台、陸上自衛隊、流域市町、警察、消防、ライフライン、運輸事業者等の関係機関に参画いただきます。

大津川流域広域タイムラインWG構成員

大阪府鳳土木事務所

管内消防

大阪府岸和田土木事務所

ライフライン事業者

大阪府事業管理室

運輸事業者

大阪府河川室

陸上自衛隊

大津川水系流域市町

大阪管区气象台

管内警察

3. タイムラインの想定シナリオ

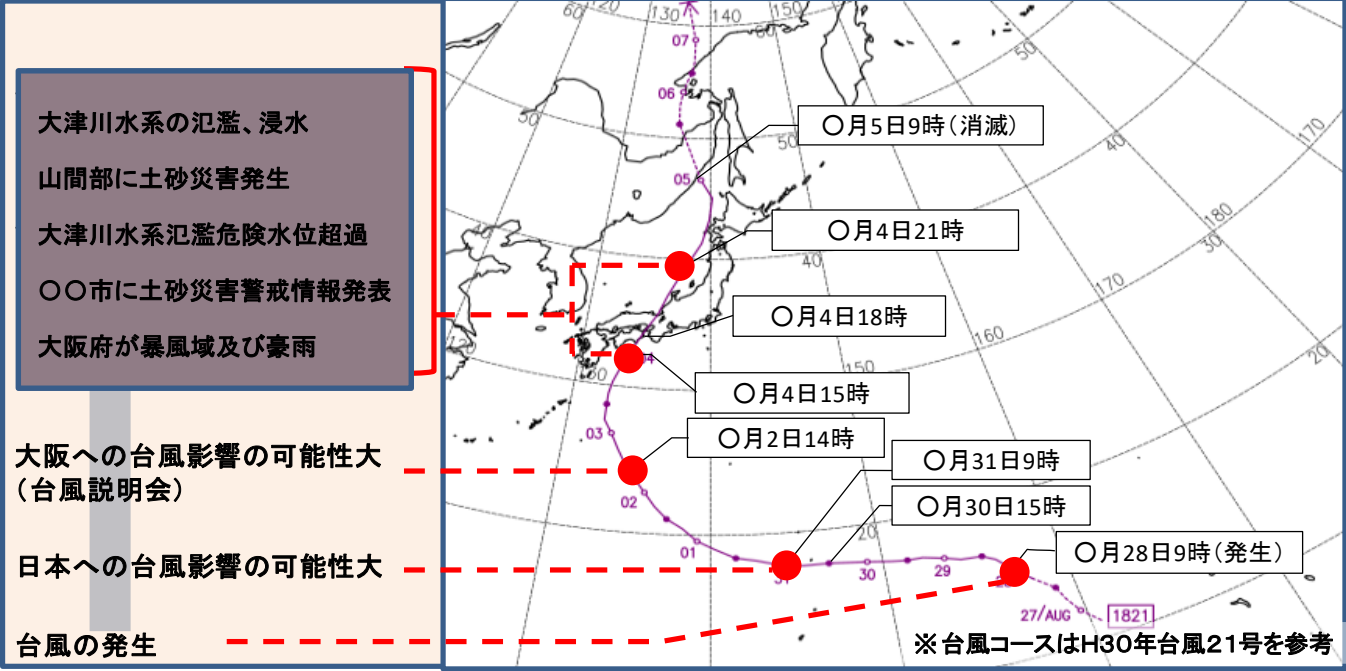
○ タイムラインの災害想定

タイムラインの災害想定は風水害を対象とし、風水害は、**大津川水系の氾濫による「洪水害」と山間部の「土砂災害」とを想定する。**

風水害の発生要因は、**台風に伴う暴風や記録的大雨**によるものとし、台風接近から災害発生までの防災行動をリードタイムごとに整理する。

なお、前線性降雨や局地的大雨での防災行動についても、リードタイムは異なるものの、実施すべき行動内容に差が無いことから、このタイムラインを参考にするものとする。

【想定する台風経路と被害事象の経過】



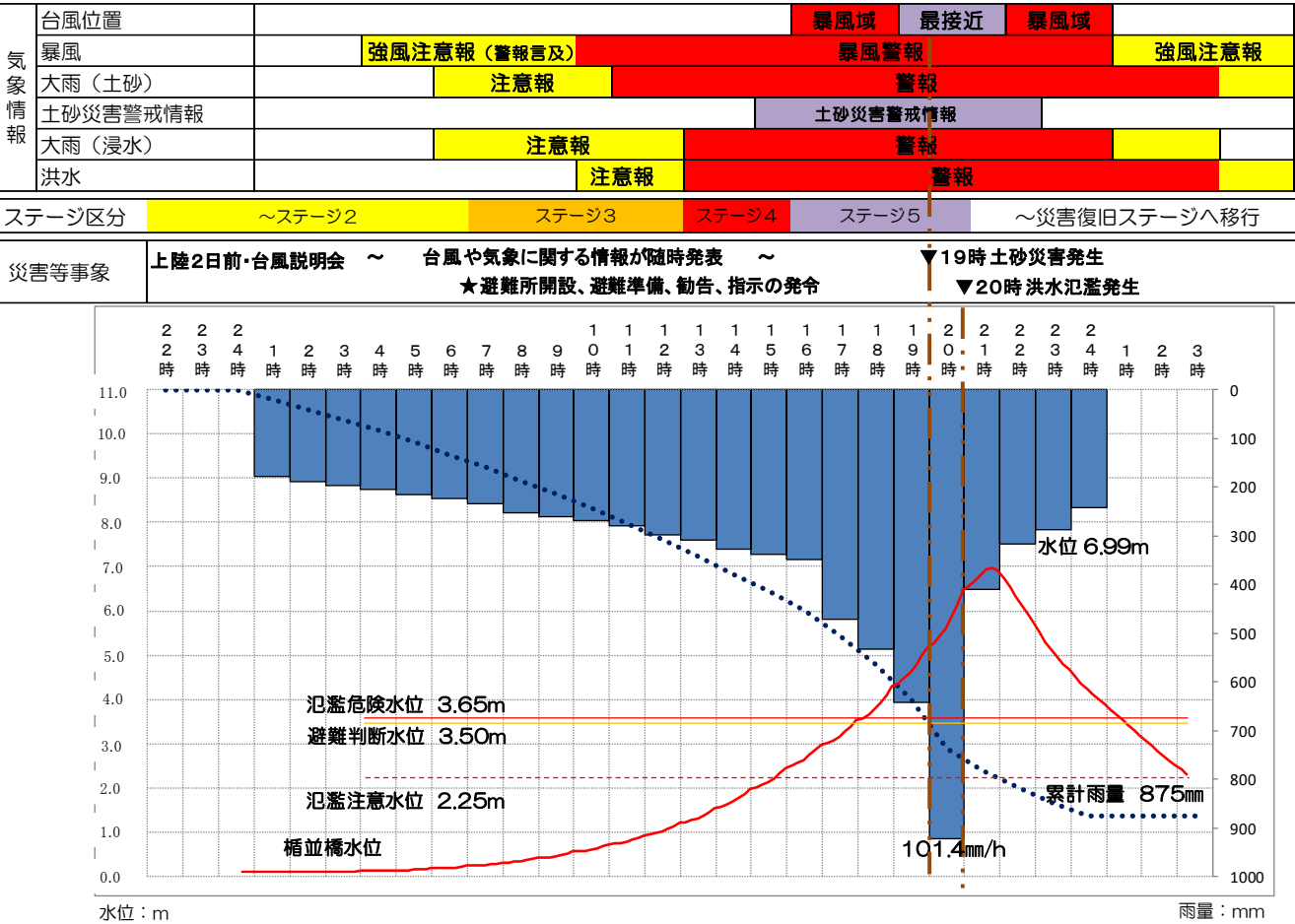
※ 台風上陸から災害発生までの想定シナリオは次ページ

○ タイムラインの対象期間とステージ

タイムラインの対象期間は、災害への準備（平時）から、避難完了・災害発生までの期間を対象とする。タイムラインを作成する対象期間を、下表のステージ0 から5 までに区分し、ステージごとに防災行動項目を整理する。

行動目標	ステージ					
	ステージ0 平時 平時からの備え	ステージ1 準備 災害発生までの対応方針を決めて庁内に伝達	ステージ2 注意 現場活動・避難支援活動の開始可能状態	ステージ3 早期避難 避難に時間のかかる人の避難	ステージ4 避難 全員が安全な場所に避難	ステージ5 避難完了/災害発生 避難者受入・発災後の応急対応など
時間目安		最接近の3日前～2日前	概ね1日前～	概ね12時間前～	6～3時間前	台風最接近～災害発生
気象情報		台風説明会 早期注意情報 台風情報	強風注意報 大雨注意報 氾濫注意情報 洪水注意報	強風注意報（警報言及） 大雨警報（土砂・浸水） 洪水警報、氾濫警戒情報	暴風警報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	氾濫発生情報
災害事象			公共交通機関の計画運休判断	公共交通機関の計画運休開始	府道の通行規制	山間部で土砂災害 大津川水系氾濫で市町浸水

3. タイムラインの想定シナリオ



土砂災害

H29年台風21号時の様子
大津川・楯並橋水位



4. タイムライン完成までのスケジュールについて

○ タイムライン完成までの過程

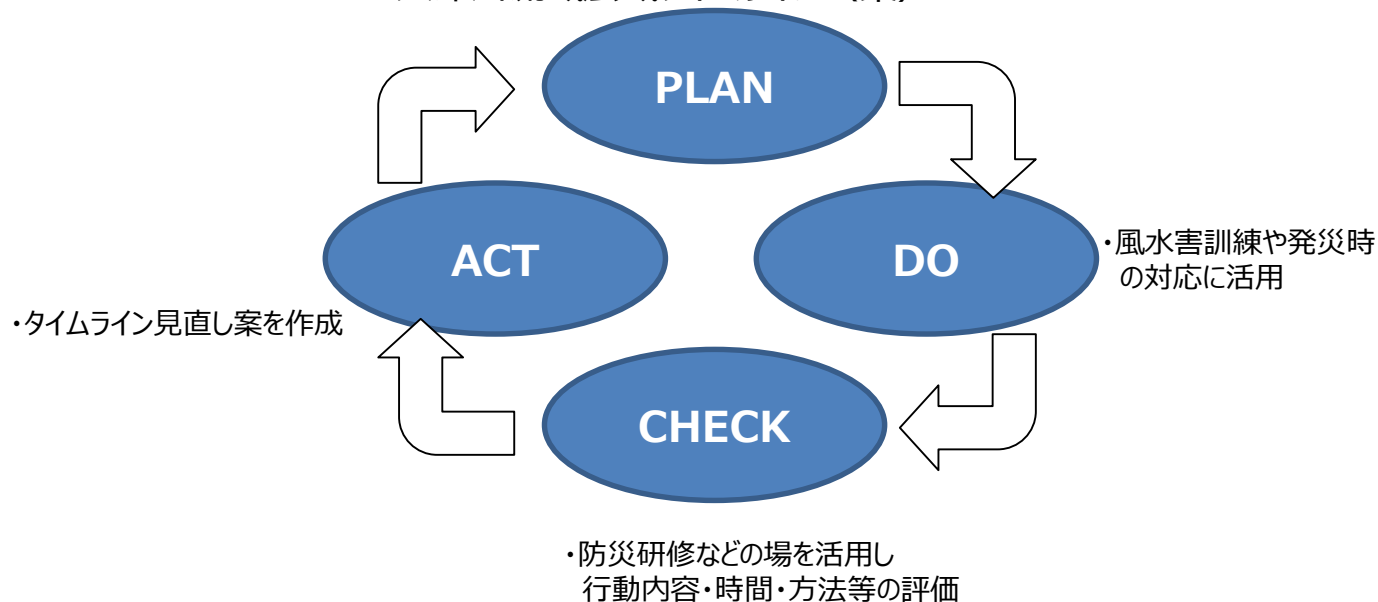
大津川流域広域タイムラインWGにより作成。作成までのスケジュールは以下のとおりです。

時 期	議事内容	目 標
第1回 12月3日 (書面開催)	<ul style="list-style-type: none">作成方針をもとにした本編（案）及び総括表（案）について	<ul style="list-style-type: none">WG構成員へ加筆・修正等の意見を求める。
第2回 2月3日 (オンライン開催 + 書面開催)	<ul style="list-style-type: none">前回の意見を反映した本編（案）及び総括表（案）について	<ul style="list-style-type: none">さらに議論を深め、試行版の完成を目標とする。
第3回 3月17日	<ul style="list-style-type: none">前回の意見を反映した本編（案）及び総括表（案）を通知	<ul style="list-style-type: none">令和3年4月1日より試行版として運用開始

○ タイムラインの検証

このタイムラインは、平常時の防災訓練や研修、発災時の対応等を通じて、効率的に運用できるよう備えることが重要である。また、防災訓練や発災時の運用での課題等を評価し、タイムラインの見直しを図る。

大津川流域広域タイムライン（案）



5. タイムラインの構成

○ 大津川流域広域タイムラインは、以下の項目について災害時の役割を考慮し作成する。

項目	災害時の役割	構成各機関
意思決定	タイムライン運用にあたり、防災活動に従事する市組織全体や連携する防災機関の行動を視野に入れ、連絡調整や時系列毎の判断と発信を行う	大阪府（鳳土、岸土、事業管理室、河川室）、大阪管区気象台 ＪＲ西日本、南海電鉄、 泉北高速
住民避難支援	タイムラインにしたがって、住民への情報伝達、避難所開設・運営ならびに、要支援者を含む避難行動の支援などの防災行動に従事する	高石市、泉大津市、和泉市、 忠岡町、岸和田市
現場活動	タイムラインにしたがって、施設の巡視や資器材の準備など災害時に備えた準備や災害発生時の道路の通行規制や復旧など現場での防災行動に従事する	高石市、泉大津市、和泉市、 忠岡町、岸和田市 水道企業団、関西電力、大阪ガス、 ＮＴＴ西日本、警察、消防、 陸上自衛隊

○ 大津川流域広域タイムライン 総括表（案）

横軸（列）に災害発生（ゼロ・アワー）を基準とした時間軸を置き、縦軸（行）に行動目標ごとに各防災関係機関の行動項目を整理。

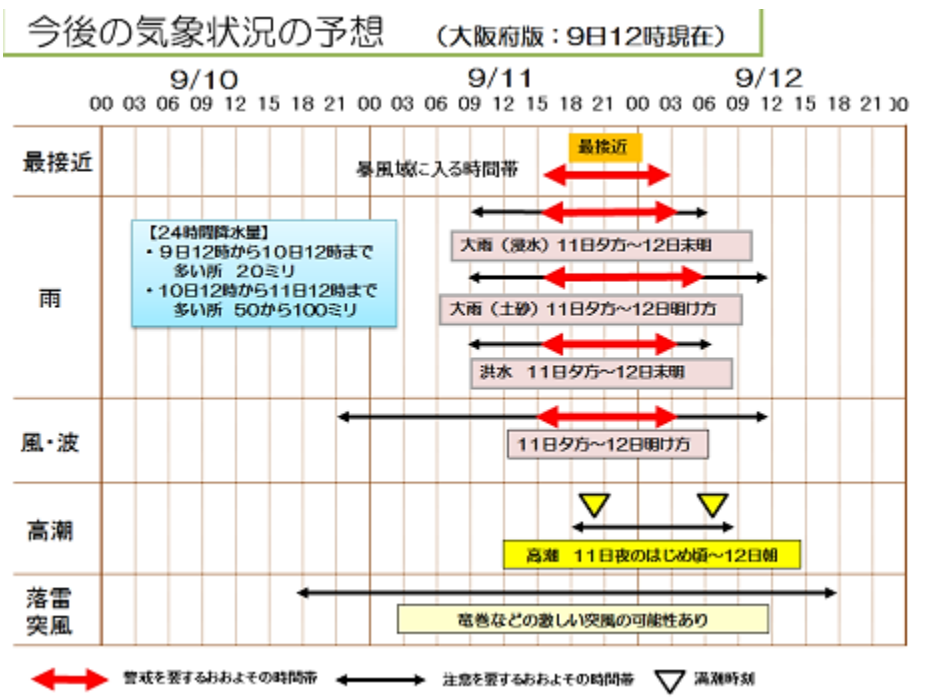
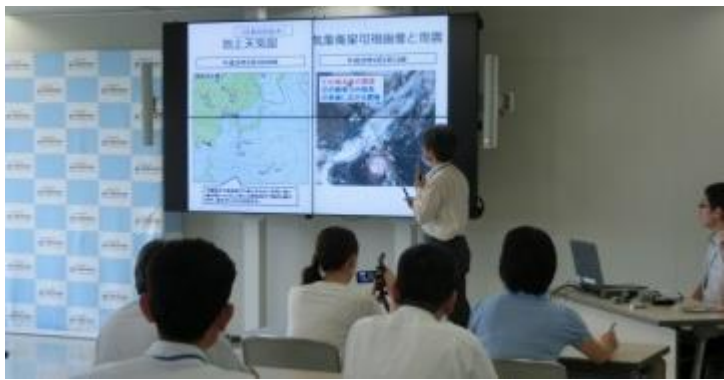
(案) 大津川流域 広域タイムライン 総括表 (試行版) 1/2

[illegible]

6. タイムライン発動のトリガーについて

台風の接近にともなって大阪府域に警報級の気象予報の発令が予想される場合、重大な災害が発生する可能性がある場合、大阪管区気象台が台風説明会を開催(概ね2日前)する。従って、タイムラインの発動は、大阪管区気象台が台風説明会を開催することをトリガーとし、開催後、大阪府 鳳土木事務所より関係機関(大津川流域広域タイムライン策定WG構成機関)に対し、一斉メール及びファックス(警察機関)によりタイムライン発動の連絡を行うこととする。

○ 大阪管区気象台による台風説明会



7. タイムライン関係者連絡先一覧(1/2)

防災機関名	電話	FAX
大阪府鳳土木事務所	072-273-0123	072-275-1588
大阪府岸和田土木事務所	072-439-3601	072-422-9705
大阪府水防本部	06-6944-6167	06-6944-6654
大阪府事業管理室	06-6944-9269	06-6944-6773
大阪府河川室	06-6944-7592	06-6949-3129
和泉市	0725-41-1551	0725-41-1944
泉大津市	0725-33-1131	0725-21-0412
高石市	072-265-1001	072-267-3078
忠岡町	0725-22-1122	0725-22-0364
岸和田市	072-423-9437(危機管理部) 072-423-9579(建設部)	072-423-6933(危機管理部) 072-423-7239 (建設部)
大阪管区气象台	06-6949-6590	06-6941-1846
陸上自衛隊信太山駐屯地	0725-41-0090	0725-41-0090
和泉警察署	0725-46-1234	0725-45-6819
泉大津警察署	0725-23-1234	0725-23-2194
高石警察署	072-265-1234	072-261-4575
岸和田警察署	072-439-1234	072-432-0730

7. タイムライン関係者連絡先一覧(2/2)

防災機関名	電話	FAX
堺市消防局	072-238-0083	072-223-7473
和泉市消防本部	0725-41-0119	0725-45-5155
泉大津市消防本部	0725-22-0119	0725-33-0531
忠岡町消防本部	0725-31-0119	0725-22-4000
岸和田市消防本部	072-426-8609	072-426-0880
大阪広域水道企業団 南部水道事業所	0725-57-2154	0725-50-2167
関西電力送配電(株) 大阪支社大阪南総務部	072-222-9101	—
大阪ガス(株)ネットワークカンパニー 南部導管部	072-238-2375 (平日昼間) 072-222-0589 (夜間休日)	072-223-5524
西日本電信電話(株) 大阪支店 設備部災害対策課	06-6210-2609	06-6585-9410
西日本旅客鉄道(株) 近畿統括本部	06-7668-7072	06-7668-7076
南海電気鉄道(株)工務課	06-6644-7175	06-6644-7167
泉北高速鉄道(株)技術部	0725-57-2601	0725-57-2604

大津川流域 広域タイムライン 総括表（案）（試行版） 1／2

実施機関		ステージ区分	ステージ0	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 4	ステージ 5
		行動目標	平時からの備え	災害発生までの対応方針を決めて庁内に伝達	現場活動・避難支援活動の開始可能状態	避難に時間のかかる人の避難	全員が安全な場所に避難	避難完了/災害発生 避難者受入・発災後の応急対応など
		時 間 目 安	平時	最接近の3日前～2日前	概ね1日前～ （台風＋前線の場合、3～1 日前）	概ね12時間前～ （台風＋前線の場合、24～6時間前）	6～3 時間前	台風最接近～災害発生
大阪管区気象台		台風・気象情報など	・各種研修・訓練	・台風説明会⇒報道機関・大阪府 ・テレビ会議⇒市町村・消防 ・早期注意情報（警報級の可能性） ・大阪府気象情報 ・台風情報	・強風注意報 ・大雨注意報 ・洪水注意報 ・氾濫注意情報 ・土砂危険度分布（黄メッシュ出現） ・洪水危険度分布（黄メッシュ出現）	・強風注意報（警報言及） ・大雨警報（土砂災害・浸水害） ・洪水警報 ・氾濫警戒情報 ・土砂危険度分布（赤メッシュ出現） ・洪水危険度分布（赤メッシュ出現） ・高潮注意報	・暴風警報 ・土砂災害警戒情報 ・氾濫危険情報 ・土砂危険度分布（薄紫メッシュ出現） ・土砂危険度分布（濃紫メッシュ出現） ・洪水危険度分布（薄紫メッシュ出現） ・担当レベルのホットライン 気象台⇄自治体 ・高潮警報	・大雨特別警報（浸水害）発表 ・大雨特別警報（土砂災害）発表 ・氾濫発生情報 ・大雨特別警報の発表のお知らせメール ・ホットライン 気象台次長⇒首長 ・大雨特別警報発表に関する記者会見 ・台風上陸情報
大阪府 水防本部		態勢・行動	・各種研修・訓練	・台風説明会資料 ⇒事務所・各市町村へ配信	・警戒配備指令	・第1、第2非常配備指令	☆土砂災害警戒情報発表 ☆大津川・榎尾川洪水予報発表（氾濫注意水位到達） ☆牛滝川洪水予報発表（氾濫注意水位到達）	☆大津川・榎尾川洪水予報発表（避難判断水位到達） ☆牛滝川洪水予報発表（避難判断水位到達） ☆大津川・榎尾川洪水予報発表（氾濫危険水位到達） ☆大津川・榎尾川洪水予報発表（氾濫発生） ☆牛滝川洪水予報発表（氾濫発生）
大阪府 災害対策本部		態勢・行動	・防災啓発の実施	・府民等への注意喚起（おおさか防災ネット等） ・台風説明会⇒市町村への映像配信	・各施設休館、イベント等行事の中止検討 ・配備体制の確認 ・災害モード宣言（気象台予測で台風が大阪府域に接近・上陸し、府域の陸上で最大風速30m以上が見込まれる場合）	・災害警戒本部会議開催 ・台風説明会⇒市町村への映像配信		・災害対策本部会議開催 ・救助活動の応援要請の措置
大阪府 土木事務所		態勢			・本部 警戒配備	・本部 第1、第2非常配備		
		行動	・各種研修・訓練 ・管内点検 ・資機材点検	・所内注意喚起（事前活動の依頼） ・通行規制看板準備 ・ライト、発電機等準備 ・公用車燃料補給 ・ワークポイント現場確認 ・交通整理員確保 ・占用者（工事中）への注意喚起 ・職員配備体制の検討、連絡	・気象情報、雨量、水位情報の把握 ・大津川、榎尾川、牛滝川パトロール ・単装業者及び請負業者へ待機指示 ・公園指定管理者及び来園者への注意喚起 ・職員配備体制の連絡	・水防警報発表（水防団待機水位到達） 大津川（橋並橋） 榎尾川（川中橋・桑原大橋） 牛滝川（高板橋、山直橋） ・土砂メッシュの監視	・水防警報発表（氾濫注意水位到達） 大津川（橋並橋） 榎尾川（川中橋・桑原大橋） 牛滝川（高板橋、山直橋） ・土砂災害警戒情報発表 ⇒ホットライン発信 ・土砂メッシュの監視強化 ・土砂災害警戒情報＋土砂危険度分布（濃紫） ⇒ホットライン発信④、⑤ ・高潮氾濫危険情報受信	・河川カメラ監視強化 ・大津川・榎尾川洪水予報発表（避難判断水位到達、 氾濫危険水位）等に基づくホットライン 【大津川 ⇒ ホットライン②、③】 【榎尾川 ⇒ ホットライン②、③、④】 【牛滝川 ⇒ホットライン②、③、④】 ・牛滝川洪水予報発表（避難判断水位到達、氾濫危険水位） に基づくホットライン⑤ ・大津川・榎尾川洪水予報発表（氾濫発生）等に基づくホットライン 【大津川 ⇒ ホットライン②、③】 【榎尾川 ⇒ ホットライン②、③、④】 【牛滝川 ⇒ホットライン②、③、④】 ・牛滝川洪水予報発表（氾濫発生） に基づくホットライン⑤ ・異常気象時通行規制区間⇒通行注意・通行止め
泉北・泉南市町		判断・意思決定 情報連絡	・職員配備体制の構築 ・活動分担表の確認 ・災害関係マニュアルの整備 ・避難行動や避難の必要性の 市民周知	・職員の配備体制の確認 ・対策会議を開催 ・台風接近を広報 ・気象情報を収集 ・気象情報の収集	・対策会議を開催 ・台風接近を広報 ・気象情報を収集 ・職員配備体制の確認		・災害警戒本部又は災害対策本部の設置運営 ・大阪府への情報提供（O-Dis、Lアラート） ・市民からの相談や通報受付	・災害警戒本部又は災害対策本部の設置運営 ・大阪府への情報提供（O-Dis、Lアラート） ・報道機関対応 ・市民からの相談や通報受付
		避難誘導の実施 避難所の運営	・運営訓練、研修 ・消防団との連携 ・備蓄等確認	・水防団、消防団等への注意喚起 ・庁内各部局に応援職員依頼 ・配備職員控室・車両の確保 ・HP・Facebook等による住民への注意喚起	・HP・Facebook等による住民への注意喚起 ・配備職員控室・車両の確保	・避難準備・高齢者等避難開始 ・防災無線を使った広報 ・避難情報、避難所開設情報を連絡 （町会・自治会・民生委員・自主防災組織・福祉施設） ・福祉避難所体制確認	・避難勧告 ・防災無線を使った広報 ・避難情報、避難所開設情報を連絡 （町会・自治会・民生委員・自主防災組織・福祉施設）	・避難指示 ・防災無線を使った広報 ・避難情報、避難所開設情報を連絡 （町会・自治会・民生委員・自主防災組織・福祉施設）
		要配慮者の支援	・要支援者名簿の整理 ・緊急連絡網の整備 ・支援者と要支援者の交流	・支援者及び要支援者情報の確認共有	・災害リスク内支援者及び要支援者へ連絡	・避難行動要支援者避難対応 ・ボランティアセンター（社会福祉協議会）体制確認	・避難行動要支援者避難対応 ・福祉避難所体制確認	・避難行動要支援者避難対応 ・要支援者の安否確認 ※安否確認については、安全に行動できるようになってから行う。
		小中学校	・児童、生徒、教職員への防災啓発 ・出前講座（防災啓発）	・気象情報の収集 ・学校への注意喚起 ・青色パトロール情報発信依頼	・気象情報の収集 ・学校への注意喚起 ・臨時休校対応準備	・暴風警報発令による引渡し、帰宅 ・学校への注意喚起・情報提供 ・児童、生徒/施設の安全確保	・学校への注意喚起・情報提供 ・児童、生徒/施設の安全確保	・被災後の児童の安全確保とケア ・児童、生徒/施設の安全確保
		現場対応	・各種研修・訓練 ・管内施設点検 ・資機材点検 ・車両の点検 ・パトロール地点の見直し	・水防資機材の点検準備 ・消防水利施設の巡視 ・土のうの事前配布 ・過去の浸水箇所の点検・清掃 ・所管工事箇所への注意喚起 ・管理施設の暴風・大雨対策の確認	・消防水利施設の巡視 ・土のうの事前配布 ・ため池・橋門の確認 ・過去の浸水箇所の点検・清掃 ・所管工事箇所への注意喚起 ・管理施設の暴風・大雨対策の確認	・河川状況現場確認	・河川状況現場確認	・河川状況現場確認 ・危険箇所周辺のパトロール ・被害箇所の応急処理 ・断水地域の給水活動
警察		現場状況の把握	・関係機関との情報共有 ・管内危険箇所の把握	・関係機関との情報共有 ・管内危険箇所の確認と対応	・関係機関との情報共有 ・公共交通機関との計画運休等の情報収集	・関係機関との情報共有 ・交番勤務員等による情報収集 ・管内危険箇所の確認と対応	・関係機関との情報共有 ・交番勤務員等及び110番通報等による情報収集	・緊急通行路の指定 ・交番勤務員等及び110番通報等による情報収集
		職員の体制・動員配備	・災害時における体制確立訓練の実施	・災害時における体制確立要領の確認	・体制の確保 ・職員への待機指示等 ・参集手段の確保等	・署警備本部の設置等 ・職員への参集指示等	・体制の確立	・応援部隊の要請の判断
		現場対応 （救助、交通誘導等）	・資機材の点検・整備 ・職員に対する救助、交通誘導等の教養実施 ・自主防災訓練への参加 ・関係機関との合同訓練	・関係機関との連絡体制の確立 ・職員に対する情報提示	・関係機関との情報共有 ・職員に対する情報提示	・関係機関との情報共有 ・職員に対する情報提示	・関係機関との情報共有 ・被害、避難状況の把握 ・避難促進活動の実施	・関係機関との情報共有 ・被害、避難状況の把握 ・救助部隊の編成、現場派遣 ・応援部隊要請の判断

※大津川流域では、高石市域の被害範囲は限定的となるため、芦田川での防災行動と同様の対応をとる。

大津川流域 広域タイムライン 総括表（案）（試行版） 2／2

実施機関		ステージ区分	ステージ0	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 4	ステージ 5
		行動目標	平時からの備え	災害発生までの対応方針を決めて庁内に伝達	現場活動・避難支援活動の開始可能状態	避難に時間のかかる人の避難	全員が安全な場所に避難	避難完了/災害発生 避難者受入・発災後の応急対応など
		時 間 目 安	平時	最接近の3日前～2日前	概ね1日前～ （台風＋前線の場合、3～1日前）	概ね12時間前～ （台風＋前線の場合、24～6時間前）	6～3時間前	台風最接近～災害発生
消防		住民の安全確保	・現場及び施設点検 ・情報収集	・防災関係機関との情報共有	・招集体制の確認	資機材の準備確認	・災害対策本部設置 ・人員体制の配備完了 ・避難情報の収集、対応	・被害情報の把握、共有 ・広域応援要請検討 ・災害対応
		消防団の体制	台風発生時の行動の徹底		団長、副団長、管轄の団員の待機	団長、副団長、管轄の団員の待機	団長、副団長、管轄の団員の待機	団長、副団長、管轄の団員の待機及び増員
自衛隊		住民の安全確保	・資機材点検 ・非常勤務員の指定	・台風情報の収集（継続） ・関係機関との情報共有	・台風情報の収集（継続） ・関係機関との情報共有（継続） ・情報所開設	・台風情報の収集（継続） ・関係機関との情報共有（継続）	・台風情報の収集（継続） ・関係機関との情報共有（継続）	・台風情報の収集（継続） ・関係機関との情報共有（継続） ・指揮所開設 ・被害情報の収集 ・災害派遣要請がある場合 ⇒要請内容の確認・受理 ⇒災害派遣部隊編成・準備 ⇒災害対応
ライフライン 事業者	大阪広域水道企業団 （南部水道事業所）	機能の維持	・日常点検及び施設点検	・管理施設の確認、点検 ・配備体制の指示	・受水企業へ注意喚起	・緊急時使用資機材等の点検確認 ・備蓄資材の確認	・配備体制の確立 ・停電時の水量確保	・被害状況の把握、共有 ・被害箇所の復旧作業 ・応援給水
	関西電力送配電㈱	機能の維持	・電力設備の巡視 ・飛散物の防止 ・連絡体制の確認 ・復旧用資機材の確保	・警戒本部設置 ・情報収集体制の確立	・非常災害対策本部設置 ・復旧体制の確立		・設備被害、停電情報の把握	・被害情報および道路情報の把握・共有 ・復旧応援体制の見直し ・被災箇所の復旧作業（設備巡視）
	西日本電信電話㈱ 大阪支店	機能の維持	・通信設備、資機材の点検 ・防災訓練への参加 ・通信アラームの監視	・情報連絡室の設置	・災害対策本部設置 ・ホームページでの情報提供	・交通機関、道路状況等の情報収集	・電源車、衛星車等出動準備 ・停電情報の収集 ・避難所開設情報の把握 ・特設公衆Wi-Fiの設置検討 ・回線輻輳状況の把握 ・T.C. の検討 ・災害用伝言ダイヤル「171」の運用開始	・被害状況の把握、共有 ・設備アラームの把握 ・リエソンの派遣 ・パトロール実施 ・被災箇所の復旧作業
	大阪ガス㈱ 導管事業部	機能の維持	・日常点検及び施設点検	・施設及び資機材の点検	・社内体制の検討 ・関係施設の遠隔監視の開始		・施設監視体制の確立 ・作業、勤務従事中止検討	・被害情報の把握、共有 ・被害状況の確認 ・応急対応の実施
鉄道事業者	JR西日本㈱	利用者の安全確保	・資機材材料及び施設の点検確認	・運転計画の検討 ・協力会社への連絡	・運転計画の報道発表		・運転計画開始 ・警備開始	・運転取りやめ ・停車列車の警備 ・災害対応準備 ・被害状況の確認及び応急対策 ・点検、運転再開の検討
	南海電鉄㈱	利用者の安全確保	・資機材材料及び施設の点検確認	・運転計画の検討 ・協力会社への連絡	・運転計画の報道発表		・他社路線の運航状況確認 ・点検方法等の検討 ・計画運転開始	・運転取りやめ ・停車列車の警備 ・災害対応準備 ・被害状況の確認及び応急対策 ・点検、運転再開の検討
	泉北高速鉄道㈱	利用者の安全確保	・資機材材料及び施設の点検確認	・運転計画の検討	・運転計画の報道発表		・計画運転開始	・運転取りやめ ・停車列車の警備 ・災害対応準備 ・被害状況の確認及び応急対策 ・点検、運転再開の検討

おおさかタイムライン防災プロジェクト

いかなる災害も、先を見越し、あらかじめ、各組織の役割や行動を定め合意しておくことが、いざというときに、命を守る、経済被害を最小化することにつながる



タイムラインで変わる防災

「タイムライン防災」とは、大規模な災害は必ず発生することを前提に、府民の命を守り、被害を最小化することを目的として、防災関係機関が連携し、災害時に発生する状況をあらかじめ想定し、共有した上で、「いつ」「誰が」「何を」「どのように」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列に整理した計画です。

1. タイムラインの策定過程で、お互いの顔が見える関係を築く。
2. タイムラインであらかじめ役割を決めて、動く。
3. タイムラインは、首長の意思決定を支援する。
4. タイムラインで、先を見越した早めの行動が安全・安心に。
5. タイムラインを防災チェックリストとし、防災行動の漏れ、抜け、落ちの防止に。
6. タイムラインに実災害での反省や課題をフィードバック。

プロジェクトの概要

大阪府では、タイムラインを以下の3つに分類しており、それぞれについて先行取り組み（リーディングプロジェクト）を完成させ、先行事例をモデルに、洪水や土砂災害、高潮災害など異なるバーストも対象に加えながら、国や市町村と連携し、タイムライン防災を大阪府全域に広げていく、「おおさかタイムライン防災プロジェクト」を進めています。

広域タイムライン

比較的大きな流域を対象とし、大阪府や市町村、国に加え、報道機関、ライオン事業者、鉄道事業者など多の防災機関の防災行動を記載し、主に市町村が主体となり作成する市町村のタイムライン

リーディングプロジェクト 寝屋川流域大規模水害タイムライン



完成したタイムラインを手交する瞬間(川内長野市長)

リーディングプロジェクト 河内町土砂災害タイムライン



完成したタイムラインを手交する瞬間(川内長野市長)

コミュニティ（地域）タイムライン

自治会や小学校区など小さな区域を対象とし、住民や自主防災組織などの防災行動を記載し、主に市町村と地域や住民が一緒に作成する地域のタイムライン

リーディングプロジェクト 貝塚市高潮タイムライン



ワークショップを行う貝塚市の地域住民ら（住宅毛地区）

タイムラインは策定して終わりではない

平常時の訓練や実際の水害対応の中での検証などを踏まえて、改善を重ねる。確実な災害への備えに繋げていきます。



プロジェクトの達成目標

水防災意識社会の再構築に向けた緊急行動計画に基づき、2021年（令和3年度）までに、大阪府内の全市町村において、「洪水」「土砂」「高潮」のいずれかを対象としてタイムライン策定を目指す。

洪水

流域が複数の市町村にまたがり、施設操作などにより、水位情報等重要な意味を持つ河川については、流域全体を対象に「大阪府が主体的に策定」します。

その中の河川は、「市町村タイムライン」が基本となるため、大阪府は「策定支援」を行います。

土砂災害

現象が限定的であり「市町村タイムライン」が基本となるため、大阪府は「策定支援」を行います。

高潮

大阪湾沿岸の複数の市町村が関連し、水門や堤防等の操作や道路の通行止め等、府の防災行動が大きく影響するため、大阪府が「主体的に策定」します。

これまでの取り組み



利根川・荒川・利根川（茨城県）の堤防決壊

泉佐野市タイムライン 策定 7月

「水防法の一部を改正する法律」施行 6月

① 更新後利用施設の建築確認申請書作成及び建築の厳格化
② 大規模災害時の避難計画の策定
③ 水害対応タイムライン作成の取り組み

リーディングプロジェクト
河内町土砂災害タイムライン検討会 策定式 12月



大阪府と河内町、大阪府東区各自治体、報道機関、ライオンが参加する検討会を開催し、市町村タイムラインの検討体制を構築。

平成30年7月豪雨、台風第21号 7月、9月



異常洪水による防壁崩壊
流入（豊前川・池田川）

令和元年 10月

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

令和2年 1月

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

令和3年 1月

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。

府内全域に「おおさかタイムライン」のリーフレットを作成。



小水川（若手川）の氾濫による高層マンションの被害

平成27年 8月

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

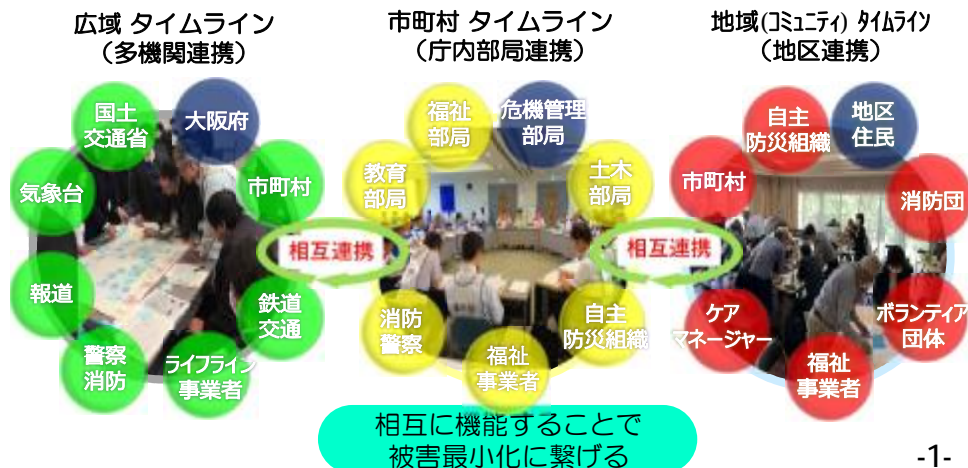
平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

平成28年 台風第10号

■おおさかタイムライン防災プロジェクト

- ・タイムラインとは、災害の発生に備えて「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、防災行動と実施主体を時系列に整理した計画。（事前防災行動計画）
- ・台風等に起因する洪水や高潮、土砂災害など事前に予測ができる進行型の災害を対象に、タイムラインを府域全域に展開しています。



-1-

■各種タイムラインの内容と意義

府施策	おおさかタイムライン防災プロジェクト			防災意識の普及啓発
TL種別	広域 タイムライン	市町村 タイムライン	地域 タイムライン (コミュニティ) 『地区防災計画』を時間軸に沿ってわかりやすく整理したもの	マイ タイムライン
内容・主体	大きな流域を対象に多くの防災機関の行動を記載し、主に 国や府が主体 に作成。	市町村の各部署の防災行動を記載し、主に 市町村が主体 に作成。	コミュニティレベルでの防災行動を記載し、 市町村と地区住民 が一緒に作成。	住民一人ひとりの防災行動を記載し、 個人や家族 が作成。
意義	公助		共助	自助
	行政や消防・警察による救助活動や支援物資の提供など、 公的支援を円滑に進めること。		高齢者や障害者などの避難や救助活動のために、地区住民たちで助け合い、 地区の防災力を向上すること。	家庭で日頃から災害に備えたり、災害時には事前に避難するなど、 自らの力で身を守ること。

-2-

『おおさかタイムライン防災プロジェクト』のあゆみ

- 平成29年 ● **キックオフイベント**
3月 おおさかタイムライン防災プロジェクト シンポジウム
- **リーディングプロジェクト 発足式**
7月 寝屋川流域 大規模水害タイムライン
12月 河南町 土砂災害タイムライン
- 平成30年 ● **リーディングプロジェクト 完成・運用開始**
6月 河南町 土砂災害タイムライン
8月 寝屋川流域 大規模水害タイムライン
タイムラインの発動とふりかえり、改善
8～10月 台風20号、21号及び24号
- 令和元年 ● **情報発信・気運醸成・きっかけづくり**
1月 タイムライン・カンファレンス全国大会（貝塚）
TL完成・運用開始
9月 安威川流域 洪水タイムライン
- 令和2年 ● **TL完成・運用開始**
3月 南河内地域 広域タイムライン
8月 大阪湾沿岸(泉州)高潮タイムライン
- 令和3年 ● **TL完成予定**
3月 大津川流域広域タイムライン
秋頃 神崎川流域タイムライン
プロジェクトの総括（シンポジウム）



-3-

■住民の避難行動に関する現状

- ・プロジェクト立ち上げ（H29.3）以降、「広域」「市町村」が進み、タイムライン導入で行政側の先を見越した早めの防災行動（体制構築や避難勧告等の発令）が可能となった。一方で、**防災情報が豊富に存在しているにもかかわらず、住民側では、肝心の避難行動に結びついていない。**（タイムラインが「地域」まで浸透しておらず「広域」「市町村」の真の効果が発揮できていない。）
- ・また、平成30年7月豪雨、令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨（球磨川）など、近年、大規模水害が頻発し、**高齢者や障害者など『避難行動要支援者』が、犠牲者の半数以上を占めている。**
- ・さらに、避難所における感染症対策や、在宅避難、親戚・知人宅など、指定避難所に限らない**避難の在り方が多様化している。**

■今後の取り組みの方向性

「地域(コミュニティ)」タイムラインの取り組みを強力に支援して、自力で避難できない高齢者等を含む地区住民の避難の実効性を高め、適切な避難行動に導いていく。

-4-

■課題と対応

地域タイムラインが進まない理由（課題）		対応方針	具体的な支援内容
市町村	取組みがわからない	市町村職員の養成・支援	① ■ノウハウ伝授、気運醸成 ・シンポジウム開催（気運醸成） ・講習会（TL指導者養成） ・動画など支援ツールの開発
	他の防災の取組みが多くて手が回らない		
	明確な効果が見えない	実績作り、効果事例の紹介	④ ■モデル地区での取り組み ・1地区/年/事務所管内
地域住民	対象地域が多くてマンパワー不足	指導役を担う地域の防災リーダーを育成	③ ■防災リーダー育成支援 ・防災リーダー研修（府・防対協主催）に『TL指導者養成』を組入れ ・市町村が企画する育成研修への支援（講義など）
	指導者・キーマンが不在		
	防災意識が未成熟	住民の意識啓発の繰り返し	② ■災害リスク周知 ・浸水想定区域図等の公表 ・地域版ハザードマップ更新の支援

-5-

■取り組み支援ツール（DVDにパッケージ化）



動画



ワークシート（ひな形）



タイムライン策定の手引き
（洪水編・土砂災害編）



コミュニティ・タイムラインの啓発リーフレット

※活用事例

1) 『コミュニティ・タイムライン』の紹介

- ・地域住民とのワークショップにてタイムラインの意義や効果、進め方などの説明に活用

2) DVD（動画）を活用した防災啓発

- ・防災出前講座、地域版ハザードマップ作り、防災リーダー研修などでの学習ツール



ワークショップの標準的な手順

① 学習会

DVD（動画）＋座学等による講習

② まち歩き・フィールドワーク

危険箇所や避難経路等の確認

③ グループワーク

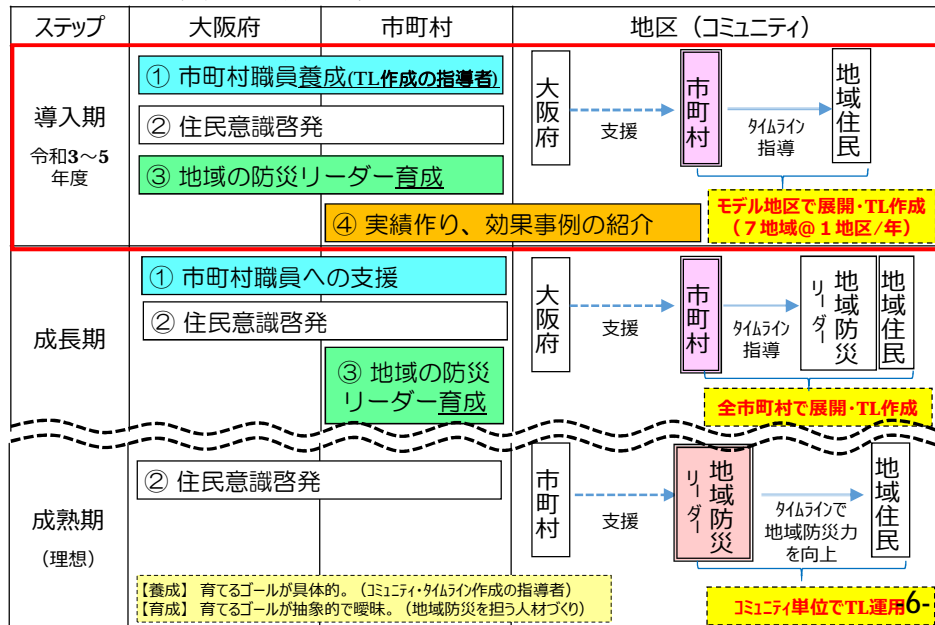
防災行動を地区住民で討議

④ 避難訓練など

出水期前や台風に向けて実施

-7-

■理想に向けた段階的な取り組み



【参考】モデル地区での年間業務サイクル（案）

項目	ツール・準備物	2～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
① 地区選定 市町村と候補箇所調整	○候補要件 活動実績や防災リーダーの存在、主体性のある地区					次年度の候補箇所
② 学習会 地区の災害リスク周知、防災気象・避難情報の入手方法、行動のタイミング	タイムライン動画、ハザードマップ、マイタイムラインワークシート、出前講座資料など					
③ フィールドワーク 危険箇所・避難経路等の確認、防災資器材の保管場所・点検等	ハザードマップ 防災資器材リスト 備蓄物資のサドル等					
④ グループワーク 地区の特性・課題抽出 連絡系統、安否確認方法、避難行動要支援者の避難検討、コミュニティタイムライン策定	ワークショップ道具、コミュニティタイムラインワークシート、要支援者の名簿（市町村）					
⑤ 避難訓練 TLに基づく情報伝達、避難（避難所開設）、安否確認（避難行動要支援者）等の訓練実施	現行のタイムライン 災害対策訓練道具					

進行度合いに応じて複数回実施

梅雨期前～台風期
次年度以降も7月～7月 支援

望ましい実施時期

-8-

【市町村タイムライン】の取組み状況

令和3年3月時点

地域・ブロック	市町村名	広域ＴＬへの参画					策定済み ○	市町村ＴＬ 策定状況						
		①安威川流域	①'神崎川流域	②寝屋川流域	③石川外流域	④大津川流域		⑤大阪湾沿岸	高潮／泉州	完成時期 (予定)	対象災害			
											洪水	土砂	高潮	地震
豊能	能勢町													
	豊能町													
	池田市							○	R2.3月	●	●			
	箕面市							策定中	(R3年度)	●	●			
	豊中市		●											
三島	高槻市	●						○	H29.1月	●	●			
	茨木市	●						策定中	(R3年度)	●	●			
	島本町							○	R2.3月	●	●			
	吹田市	●	●					策定中	(R3年度)	●	●			
	摂津市	●	●											
大阪市	大阪市	●	●	●										
北河内	枚方市			●				○	R3.3月	●	●			
	交野市			●				○	R1.9月	●	●			
	寝屋川市			●				策定中	R3.6月	●	●			
	守口市			●				○	R1.6月	●				
	門真市			●				○	R2.6月	●				
	四條畷市			●				○	R2.12月	●	●			
	大東市			●				○	H30.8月	●				
中河内	東大阪市			●				○	H30.8月	●	●			
	八尾市			●				○	H30.8月	●				
	柏原市			●	●			○	H30.12月	●	●			
南河内	松原市				●			○	R2.3月	●				
	羽曳野市			●				○	R2.3月	●	●			
	藤井寺市			●				○	R2.3月	●				
	太子町				●			○	R2.3月	●	●			
	河南町				●			○	H30.8月	●	●			
	千早赤阪村				●			○	R2.3月	●	●			
	富田林市				●			○	R2.3月	●	●			
	大阪狭山市				●			○	R2.3月	●	●			
	河内長野市				●			○	R2.3月	●	●			
泉北	堺市						●	○	R1.5月	●	●			
	和泉市					●	●	○	R1.7月	●	●			
	高石市						●	○	R3.3月	●		●		
	泉大津市					●	●							
	忠岡町					●	●							
泉南	岸和田市					●	●							
	貝塚市						●	○	R1.9月	●	●	●		
	熊取町						●							
	泉佐野市						●	○	H28.7月	●	●	●	●	
	田尻町						●							
	泉南市						●							
	阪南市						●							
	岬町						●							
全 4 3 市町村					完成_○ 策定中	26 4	30 23 3 1							

コミュニティ・タイムライン モデル地区

令和3年3月
大阪府 河川室

■モデル地区 予定箇所（令和3年度）

番号	市町村	候補地区	管内
①	豊中市	千成地区	池田土木
②	高槻市	柳川地区	茨木土木
③	枚方市	調整中	枚方土木
④	調整中	調整中	八尾土木
⑤	調整中	調整中	富田林土木
⑥	調整中	調整中	鳳土木
⑦	調整中	調整中	岸和田土木

1地区以上／年度@7土木事務所管内



大阪府では、市町村のコミュニティ・タイムラインを取り組みを支援するため**モデル地区を募集**しております。

お問い合わせ・ご相談は、土木事務所 地域支援企画課まで

泉南地域におけるおおさかタイムライン防災プロジェクトの取組み状況

令和3年3月末

市町村名	広域 T L への参画		市町 TL 策定・見直し状況				地域(コミュニティ) TL 策定状況					
	対象 事象	策定年月	対象 事象	策定 年月	PDCAによる 見直し回数	最新見直し 年月	地区数	策定箇所名 (対象事象)				
岸和田市	洪水	R3.3 (大津川流域)	-	-			0					
	高潮	R2.8										
貝塚市	高潮	R2.8	洪水 土砂 高潮	R1.9	1	R1.12	3	二色旭住宅 (高潮)	馬場地区 (洪水・土砂)	(策定中) 三ヶ山地区 (土砂)		
泉佐野市	高潮	R2.8	洪水 土砂 高潮	H28.7			5	鶴原地区 (洪水)	下瓦屋地区 (洪水)	湊地区 (洪水)	上瓦屋地区 (洪水)	中庄地区 (洪水)
泉南市	高潮	R2.8	-	-			0					
阪南市	高潮	R2.8	-	-			0					
熊取町	高潮	R2.8	-	-			0					
田尻町	高潮	R2.8	-	-			0					
岬町	高潮	R2.8	-	-			0					